



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

上場会社名 河西工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7256 URL <http://www.kasai.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 邦幸
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 常務役員 (氏名) 半谷 勝二 (TEL) 0467-75-1125
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 2019年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	102,109	△9.0	3,931	△30.8	4,395	△26.0	1,400	△42.1
2019年3月期第2四半期	112,195	△0.2	5,681	△33.3	5,943	△32.6	2,418	△51.8

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 752百万円(△55.1%) 2019年3月期第2四半期 1,677百万円(△68.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	36.20	36.20
2019年3月期第2四半期	62.62	62.55

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	144,578	68,667	42.0
2019年3月期	143,287	70,150	43.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 60,745百万円 2019年3月期 61,589百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	18.00	—	18.00	36.00
2020年3月期	—	18.00			
2020年3月期(予想)			—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	205,000	△9.8	6,300	△39.8	6,500	△41.3	2,700	△40.5
								69.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期2Q	39,511,728株	2019年3月期	39,511,728株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	818,463株	2019年3月期	832,433株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期2Q	38,689,373株	2019年3月期2Q	38,617,382株

(注)「日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)」が保有する当社株式を、期末自己株式数に含めております。(2020年3月期2Q155,429株、2019年3月期155,429株)

また、「日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。(2020年3月期2Q155,429株、2019年3月期2Q155,429株)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

世界経済は、米中貿易摩擦の激化や地政学的リスクの高まり等を受け、先行き不透明な状況が続きました。米国では、良好な雇用・所得環境により個人消費は好調を維持しておりますが、製造業においては米中貿易摩擦等により輸出の伸び悩みが見られました。中国では、米中貿易摩擦の長期化による外需の低迷に伴い経済成長の減速が継続し、その他アジア新興国も影響を受け、成長は鈍化しました。欧州においては、英国のEU離脱問題が引き続き懸念材料となり、成長は減速傾向となりました。

我が国経済においては、雇用情勢の改善や設備投資の増加の一方で、海外景気の減速に伴い生産・輸出に弱さが見られました。

当社グループの関連する自動車業界では、米国市場の新車販売はピックアップトラック、SUVなどライトトラックの販売が堅調を維持しておりますが、乗用車の販売低迷により全体では減少傾向が続いております。中国市場では電気自動車を中心とした新エネルギー車の販売は増加しているものの、景気減速と貿易政策不安により全体の販売台数は減少しました。欧州市場の自動車販売は、英国情勢の影響で英国、ユーロ圏ともに販売減少が続いております。日本市場では、前年同期と比べ新車販売台数は増加しました。

このような経営環境の中で、当社グループではグローバル市場における自動車内装部品企業としての地位を確立すべく、製品開発力・技術力の強化を図り、海外を含む取引先への拡販を積極的に進めております。これらの活動の成果として、『1 STEP成形工法 縫製加飾ヘッドライニング』がモノづくり日本会議/日刊工業新聞社が主催する「2019年“超”モノづくり部品大賞(モビリティ関連部品賞)」を受賞いたしました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は、日本セグメントは増収となったものの、北米、欧州、アジアの各セグメントでの減収の影響により、1,021億9百万円と前年同四半期に比べ100億86百万円(△9.0%)の減収となりました。営業利益は、39億31百万円と前年同四半期に比べ17億49百万円(△30.8%)の減益となりました。経常利益は、43億95百万円と前年同四半期に比べ15億48百万円(△26.0%)の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、14億円と前年同四半期に比べ10億17百万円(△42.1%)の減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(日本)

当社受注車種のうち、海外向けの輸出車種や高級乗用車の減産はあったものの、新規車種の立上げ効果や軽自動車の生産台数の増加により、売上高は319億71百万円と前年同四半期比15億18百万円の増収(+5.0%)となり、セグメント利益は4億86百万円と前年同四半期比11億10百万円の増益となりました。

(北米)

アメリカ市場でのSUVへの需要シフトによる乗用車需要の大きな落ち込みのため、当社受注車種も減産しております。また、ASC第606号「顧客との契約から生じる収益」を第1四半期連結会計期間より適用したことにより、買戻し契約に該当する有償支給取引について売上と原価を相殺表示しているため、売上高が49億29百万円減少しております。この結果、売上高は432億84百万円と前年同四半期比62億78百万円の減収(△12.7%)となり、セグメント利益は新車関連費用の増加もあり、8億29百万円と前年同四半期比6億65百万円の減益(△44.5%)となりました。

(欧州)

当社受注車種の減産により、売上高は71億50百万円と前年同四半期比11億97百万円の減収(△14.3%)となりました。セグメント損失は新拠点立上げに伴う費用の増加もあり、8億24百万円と前年同四半期比11億9百万円の減益となりました。

(アジア)

中国市場では、市場の拡大が勢いを失い需要が伸び悩む市場環境において、当社受注車種の減産がありました。この影響を受け、アジアセグメントの売上高は197億2百万円と前年同四半期比41億28百万円の減収(△17.3%)となり、セグメント利益は36億24百万円と前年同四半期比9億47百万円の減益(△20.7%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

総資産は1,445億78百万円と前連結会計年度末に比べ、12億91百万円の増加(+0.9%)となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が38億74百万円減少したものの、仕掛品が35億75百万円増加、有形固定資産が14億57百万円増加したことによるものであります。

(負債)

負債は759億11百万円と前連結会計年度末に比べ、27億74百万円の増加(+3.8%)となりました。この主な要因は、長期借入金が23億34百万円減少したものの、短期借入金が38億16百万円増加、支払手形及び買掛金が17億41百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は686億67百万円と前連結会計年度末に比べ、14億83百万円の減少(△2.1%)となりました。この主な要因は、利益剰余金が7億1百万円増加したものの、為替換算調整勘定が13億8百万円減少、非支配株主持分が6億32百万円減少したことによるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前年同四半期に比べ19億54百万円減少し179億60百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、88億29百万円の収入となり、前年同四半期比1億84百万円の収入増加となりました。この主な要因は、たな卸資産の増減額により36億32百万円の減少、税金等調整前四半期純利益により17億19百万円の減少、売上債権の増減額により40億50百万円の増加、仕入債務の増減額により4億8百万円の増加、未払金の増減額により4億13百万円の増加等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、72億16百万円の支出となり、前年同四半期比4億93百万円の支出減少となりました。この主な要因は、定期預金の預入による支出により23億66百万円の減少、事業譲受による支出により9億82百万円の増加、定期預金の払戻による収入により3億97百万円の減少、有形固定資産の取得による支出により3億31百万円の増加等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、8億78百万円の支出となり、前年同四半期比23億93百万円の支出増加となりました。この主な要因は、長期借入れによる収入が24億43百万円の減少、リース債務の返済による支出が3億9百万円の減少、非支配株主への配当金の支払額が3億10百万円の増加等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期(2019年4月1日～2020年3月31日)の連結業績予想につきましては、2019年5月10日に公表いたしました予想値を修正しております。通期連結業績予想の詳細は、本日発表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

(通期連結業績予想)

売上高	205,000百万円
営業利益	6,300百万円
経常利益	6,500百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	2,700百万円

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,441	19,764
受取手形及び売掛金	28,117	24,243
製品	992	1,400
仕掛品	8,973	12,548
原材料及び貯蔵品	5,871	5,306
その他	4,191	5,323
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	68,588	68,586
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	44,126	46,476
減価償却累計額	△22,358	△22,814
減損損失累計額	△581	△576
建物及び構築物（純額）	21,186	23,085
機械装置及び運搬具	74,234	74,295
減価償却累計額	△50,669	△52,078
減損損失累計額	△905	△853
機械装置及び運搬具（純額）	22,660	21,364
工具、器具及び備品	28,929	30,212
減価償却累計額	△23,708	△24,628
減損損失累計額	△55	△54
工具、器具及び備品（純額）	5,164	5,529
土地	7,469	7,474
建設仮勘定	6,651	7,135
有形固定資産合計	63,131	64,589
無形固定資産		
のれん	521	800
その他	802	761
無形固定資産合計	1,324	1,561
投資その他の資産		
投資有価証券	7,302	7,034
その他	2,947	2,814
貸倒引当金	△7	△6
投資その他の資産合計	10,242	9,841
固定資産合計	74,698	75,992
資産合計	143,287	144,578

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,394	24,136
短期借入金	13,923	17,740
未払法人税等	1,112	860
賞与引当金	1,237	1,187
その他	10,790	11,182
流動負債合計	49,457	55,107
固定負債		
長期借入金	18,869	16,534
退職給付に係る負債	775	394
その他	4,034	3,875
固定負債合計	23,679	20,804
負債合計	73,136	75,911
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,821	5,821
資本剰余金	5,868	5,876
利益剰余金	52,012	52,713
自己株式	△541	△535
株主資本合計	63,160	63,875
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,009	1,767
為替換算調整勘定	△3,590	△4,899
退職給付に係る調整累計額	10	1
その他の包括利益累計額合計	△1,570	△3,130
新株予約権	5	—
非支配株主持分	8,554	7,921
純資産合計	70,150	68,667
負債純資産合計	143,287	144,578

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	112,195	102,109
売上原価	97,356	88,666
売上総利益	14,838	13,442
販売費及び一般管理費	9,157	9,510
営業利益	5,681	3,931
営業外収益		
受取利息	155	196
受取配当金	114	96
持分法による投資利益	70	107
補助金収入	49	266
その他	94	118
営業外収益合計	483	785
営業外費用		
支払利息	173	269
為替差損	38	44
その他	10	8
営業外費用合計	221	322
経常利益	5,943	4,395
特別利益		
固定資産売却益	6	8
投資有価証券売却益	30	—
新株予約権戻入益	—	2
特別利益合計	36	10
特別損失		
固定資産売却損	1	4
固定資産除却損	22	192
災害による損失	27	—
その他	1	0
特別損失合計	52	197
税金等調整前四半期純利益	5,927	4,208
法人税、住民税及び事業税	2,072	1,663
法人税等調整額	186	23
法人税等合計	2,259	1,687
四半期純利益	3,668	2,521
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,250	1,120
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,418	1,400

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	3,668	2,521
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△197	△242
為替換算調整勘定	△1,770	△1,446
退職給付に係る調整額	56	△8
持分法適用会社に対する持分相当額	△79	△69
その他の包括利益合計	△1,990	△1,768
四半期包括利益	1,677	752
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	746	△159
非支配株主に係る四半期包括利益	931	912

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,927	4,208
減価償却費	4,627	4,857
のれん償却額	79	78
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△332	△393
引当金の増減額 (△は減少)	△92	△45
受取利息及び受取配当金	△270	△293
支払利息	173	269
持分法による投資損益 (△は益)	△70	△107
有形固定資産売却損益 (△は益)	△5	△3
有形固定資産除却損	22	192
投資有価証券売却損益 (△は益)	△30	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△477	3,573
たな卸資産の増減額 (△は増加)	301	△3,330
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,584	1,993
補助金収入	△49	△266
未払金の増減額 (△は減少)	△41	372
その他	△409	△222
小計	10,938	10,882
利息及び配当金の受取額	330	434
利息の支払額	△167	△267
補助金の受取額	42	266
法人税等の支払額	△2,497	△2,484
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,645	8,829
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,772	△405
定期預金の払戻による収入	1,581	1,184
有形固定資産の取得による支出	△7,218	△7,549
有形固定資産の売却による収入	929	684
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の売却による収入	48	—
事業譲受による支出	—	△982
その他	△274	△144
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,709	△7,216

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,448	1,666
長期借入れによる収入	6,443	4,000
長期借入金の返済による支出	△3,689	△3,769
リース債務の返済による支出	△852	△542
自己株式の取得による支出	—	△0
ストックオプションの行使による収入	56	10
配当金の支払額	△658	△699
非支配株主への配当金の支払額	△1,233	△1,544
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,514	△878
現金及び現金同等物に係る換算差額	△526	△582
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,924	152
現金及び現金同等物の期首残高	17,990	17,807
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,915	17,960

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間より、Kasai (Germany) GmbHを新規に設立し、当第2四半期連結会計期間においては、武漢河達汽車飾件有限公司を新規に設立し、連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

(顧客との契約から生じる収益 (ASC第606号) の適用)

米国会計基準を適用している在外連結子会社において、ASC第606号「顧客との契約から生じる収益」を、第1四半期連結会計期間より適用しております。

ASC第606号の適用により、約束した財又はサービスが顧客に移転された時点で、当該財又はサービスと交換に権利を得ると見込む対価を反映した金額で収益を認識することが求められており、適用にあたっては遡及修正による累積的影響額を適用開始日時点で認識する方法に従っております。

この結果、従来の方法に比べ、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,929百万円減少しております。なお、期首の利益剰余金、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	30,452	49,563	8,347	23,831	112,195	—	112,195
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,499	3	413	255	6,171	△6,171	—
計	35,951	49,567	8,760	24,087	118,367	△6,171	112,195
セグメント利益又は損 失(△)	△624	1,494	284	4,572	5,726	△45	5,681

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△45百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	31,971	43,284	7,150	19,702	102,109	—	102,109
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,589	0	77	336	5,004	△5,004	—
計	36,560	43,285	7,228	20,039	107,113	△5,004	102,109
セグメント利益又は損 失(△)	486	829	△824	3,624	4,115	△183	3,931

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△183百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(会計方針の変更)

会計方針の変更に記載のとおり、当社グループの米国会計基準を適用している在外連結子会社は、ASC第606号「顧客との契約から生じる収益」を第1四半期連結会計期間より適用しております。

この結果、従来の方法に比べ、北米セグメントの当第2四半期連結累計期間の売上高は4,929百万円減少しております。なお、セグメント利益又は損失(△)に与える影響はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。